

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	公共施設設計・施工監理事業	所管	道路公園部 営繕課
			TEL 2998-9176

事業の目的 (何の為に 行うか)	建築等の専門知識を活かして、法律やその他の制限事項と所管課の要望との調整を図り、安全・安心かつ環境への負荷の少ない建築物を提供するために適切な工事設計・施工監理を行う。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所管課からの工事設計依頼件数	対象とした数	78
		実際に 利用した数	67

活動の内容	(何を したか)	①建築物の新築・増築工事及び改修・修繕工事等を予定する所管課からの相談を受ける。 ②工事内容・工法等を検討して工事費の予算額を算出する。(大規模な工事の場合は工事設計委託費・工事監理委託費を算出する) ③依頼された工事設計を完了して契約事務の手続きを依頼する。 ④工事の契約締結後、工事の施工監理を実施する。 ⑤工事検査の実施後、所管課に完了報告と引き渡しを行う。							
	活動実績	項目名	自主設計工事件数	67	項目名	委託設計工事件数	11	項目名	単位
			単位 件			単位 件			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	3,215	2,846	173,817	512.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	設計件数	目標値: 工事設計依頼件数 実績: 自主・委託設計工事件数	78	78	100.0
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	070600	TEL	2998-9176
事業コード	070602	公共施設設計・施工監理事業	担当部課	道路公園部 営繕課		
開始年度	昭和 42 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	建築・電気・機械			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	建築基準法、都市計画法、消防法 他						
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向け	施策	3節 行政運営	中柱	1 行政経営の推進	小柱
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 35 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
コード	1311	ユニバーサルデザインの推進	コード	3221	公共工事のコスト構造改革			
事業開始の背景	公共施設設計・監理事業は、当初、財務部管財課の業務であったが、業務の効率性や建築の専門的な知識が必要となったため、建築等を専門とする技術職員が設計から施工監理業務まで対応することとなり、営繕課に業務が移管された。ただし、大規模な工事の場合は、設計・監理業務を委託している。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 建築等の専門知識を活かして、法律やその他の制限事項と所管課の要望との調整を図り、安全・安心かつ環境への負荷の少ない建築物を提供するために適切な工事設計・施工監理を行う。					
	対象(誰を、何を対象としているか)			利用数の考え方		
	所管課からの工事設計依頼件数			自主設計工事件数		
	対象数	単位	平成 18 年度	75	平成 18 年度	49
		平成 19 年度	78	平成 19 年度	67	
事業の具体的な内容及び実施方法						
①建築物の新築・増築工事及び改修・修繕工事等を予定する所管課からの相談を受ける。 ②工事内容・工法等を検討して工事費の予算額を算出する。(大規模な工事の場合は工事設計委託費・工事監理委託費を算出する) ③依頼された工事設計を完了して契約事務の手続きを依頼する。 ④工事の契約締結後、工事の施工監理を実施する。 ⑤工事検査の実施後、所管課に完了報告と引き渡しを行う。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
工事起工・完了の書類・書式の見直し及びデータ共有化で事務効率を高めた。 電子入札・現場説明会省略方式に対応した設計書類の電子化を実施した。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		3,290	3,215	4,788	
	決算 (見込み含む)		2,821	2,846		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )	
	正規職員人件費		18.40 人	169,280	18.20 人	170,971
	公債費					
	事業費合計		172,101	173,817		
	財源内訳	一般財源	172,101	173,817	4,788	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			509.4	512.6		
利用数一単位あたり(単位:円)			3,512,265.3	2,594,280.6		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	自主設計工事件数		件	/	49	67	71
		委託設計工事件数		件		26	11	10
	成果分析	設計件数	目標値：工事設計依頼件数 実績：自主・委託設計工事件数	目標値		75	78	81
実績					75	78	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
%				達成率	100.0	100.0	1	

評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		見直しの必要性
他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		見直しの必要性
	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	学校耐震化推進計画による耐震工事、修繕計画に基づいた工事等が開始され、設計・施工の時期が上半期に集中した。そのため、依頼課の希望する設計・施工の時期を調整する必要が生じた。		

⑦一次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	年間工事予定表の作成により仕事分担をバランスよく配分して、予定の工期内に工事を終了する。	依頼された工事の80%を上半期に設計完了する。 年間工事予定表の作成4月末

平成21年度における事業の方向性	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
評価理由	
安全・安心かつ環境への負荷の少ない建築物を提供し続けていくため、建築コストの縮減や省エネルギー等の最新技術の導入、施設を管理している所管課との協議により施設の運営・改修等将来を見据えた効率的な工事設計・施工監理を実施していく。	
平成20年5月23日	記入者職氏名 営繕課長 矢嶋賢一

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	271	312	323
◎次世代育成支援行動計画	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					